



# 支援事業終了報告

## えへつ手話の会

### 40周年記念事業

えへつ手話の会

木山 泰恵子

昨年10月23日「えへつ手話の会40周年記念事業」として大阪より「手話落語家テフ・福氏をお招きして手話落語公演を行いました。



生涯学習推進協議会からの助成をいただいたおかげで、一般参加も含めおよそ100名の参加者に無料でフコの手話落語を楽しんでもらうことができました。豊かな手話にふれ、多くの人に改めて手話の魅力を知ってもらいたい機会になり本当に感謝しています。

公演に続いて開催した祝賀会では元会員が札幌や釧路からも参加してくださり、あたたかいお祝いや励ましの言葉をいただきました。記念事業を通じ、改めてたくさんの方に支えられて40年間活動できた事を実感することができました。これからも江別で聞こえない人と共に手話の魅力を市民に伝え、また聴覚障がいを持つ人たちの課題を共に考えていきたいと思えます。

## 余市ワイナリー

### ギャラリーに展示して

江別美術協会

吉田 ユキ子

江別美術協会としては初めての市外での展示となり、小品を中心に94作品を有志15名が展示しました。

展示には11名がレンタカーとマイカーに乗り合わせて往復しました。搬出には9名がレンタカーとマイカーに乗り合わせての往復です。合わせて2往復した頑張り屋さんの運転者や展示・撤去作業者も多くありました。

余市ワイナリー内のギャラリーでは初めての試みなので、広い会場を如何に展示するか皆で知恵を交わし、風景・人物・静物の配列と配色を程よく飾り付けをして見栄えのする良い会場になりました。

来場者は道内観光の方が多く、ギャラリーの絵画目的に来られた方もいらして、江別美術協会の宣伝になり盛況で大変有意義に終わったと思っております。

当初経費の予算が立てられず



に悩みましたが、レンタカー代金を補助して頂き会員一同とても感謝致しております。有難う御座りました。

## 健康づくりのための

### 食事学・運動学

大麻スポーツ振興会

堀 文雄

平成29年1月28日(土)に大麻体育館施設にて、当会主催、大麻体育館共催、江別市教育委員会後援、江別市生涯学習推進協議会の支援のもと、「健康づくりのための食事学・運動学」と題して、元札幌医科大学医学博士の岡野五郎博士を講師にお招きして開催しました。

大麻スポーツ振興会は、大麻地区のスポーツ団体相互の連絡強化と協議を行い、地区住民が気軽にスポーツに親しみ健康を明るく、楽しい大麻をつくることを目的として球技、武道、ダンスなど社会人・少年団34団体等で構成されています。

今回の講演会は、前年2月に開催した「健康・体力測定会」に次ぐ第二弾として、運動と栄養・食事の相関を学ぶ為に開催した講演会です。

参加者は、当会会員団体の加入者と少年団指導者や大麻体育館のスポーツジムで健康づくりに関心一般の方々で、35名程が熱心に聴講しました。

講演を要約すると、日本はなぜ世界有数の長寿国になったか? 健やかな老いを可能にする食生活とは? 体を動かすことがなぜ

重要か? 運動の認知症予防効果どのくらい運動するとよいか? (METs・時とは?) 1円もかからない健康づくり法、等々の内容でした。

当大麻スポーツ振興会の会員も中高年が多くなったため、今後の健康維持に向け、自己の体力の認識と運動学や栄養・食事学の知識を向上させ、日々を楽しく元気に過ごすスポーツ愛好家に役立つ事業の取り組みを重ねていきたいと考えています。



## 司法書士劇団

### 「リガールいち座」をお招きして

NPO法人

森田 弘之

当NPO法人は平成21年5月に設立し、これまで主に成年後見制度の啓発相談活動を行い、市民の方々には年2回ほどセミナーを開催してきました。これまでは皆さんに聴いていただくことが

開演当日、来場者数は少なめでしたが、迫力がある演技で皆さん熱心に視聴して頂き、公演途中で拍手が沸き起こる反響振りでした。また公演後の解説や質問等にも、市民の皆さんから多くの意見が出され、関心の高さが何われ



今回は事前のお知らせに手間取り、来場者が少なかつたのですが、多くの皆さんから分りやすいかつたとの好評を頂いているので、また推進協議会等のご協力を頂いて開催したいと考えています。

## 人形劇講座

### 「人形劇のはじまり はじまり」

子ども文化ネットワーク・江別

高木 玲子

読み聞かせボランティアさんから、もっと学び場が欲しいと相談されます。

子どもたちをもっと楽しませてやりたい、レパートリーも広げたいと、そんな要求にこたえたくて支援事業に応募しました。人形劇団えりっこのさんの指導で、人形作りから動かすまでを教わりながら、最後はチームごとに演ずるまでの2回講座です。受講生10人、年配者から赤ちゃん連れの若い



お母さんと、皆初めてのことで不安いっぱいでしたが、それぞれ個性豊かな人形が出来上がるにつれ笑顔が見えます。たった2回の講座でしたが、学んだことを日頃の読み聞かせ活動に生かしていきたくて意欲満々の皆さんでした。早速子育て支援センター(はこぼこ)で演じ、喜んでいただくなど成果も出ています。

この講座をきっかけに人形劇が広がり、子どもたちに夢を届ける大人が増えることを願い、支援していただきました江別市生涯学習推進協議会に感謝いたします。

## 「今度は愛妻家」

### 公演を終えて

劇団「川」

河島 好江

劇団「川」創設40周年記念公演から三年が経過し、次回作品の話がたちよつとこの頃、資金不足もあり舞台構成もままならない状況の中、江別市生涯学習推進協議会からの支援のお話で公演の計画が本格的になりました。

しかしなかなか役者がそろわない日々が続く、やっと役者がそろったのは秋も終わりを迎える頃になっていました。残り1ヶ月を切った時点ではまだ、演じ始めから最後まで続ける事が出来ず、に迷っていました。小屋入り(舞台を造ってステージでの練習)後は、夜中12時まで練習をして仕上げました。



のお婆めの言葉をいただいた時に今までの苦労が嘘のように消えてしまします。

## (社)日本3B体操協会

### 創立45周年記念全国大会 in 北海道に出場して

3B体操江別サークル

佐藤 ひとみ

小樽市総合体育館で一般の見学者を含め500名以上の参加者が全道各地から集まりました。江別からは会員15名が参加しました。

全国各地で行われた大会ですが北海道大会は、グレストで地元小樽商科大学のよさこいチーム「翔奏舞」に演舞を披露していただきました。会員は、まさ全員の場をリードされた体操やレクリエーションで交流し、その後10チームに分かれて演技を発表しました。指導者によるオープニングとラストを飾るダンスにもたくさんの方の声援がありました。

交通費を支援頂き、負担が軽くなり大変感謝しています。普段自分の体の為に行っている体操ですが、このような大会に参加することで励みとなり、これからも長く続けたいと思えます。ありがとうございました。



## 【会員の活動紹介】 江別青年会議所

わたしたち、一社団法人 江別青年会議所(江別JC)は、明るい豊かな社会の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる青年を

### 『まごころ江別2016』

それでは、昨年の活動の一部を紹介させていただきます。

つた20歳から40歳までの青年の団体です。会員数は、正会員41名、賛助会員1名(平成29年2月現在)あり、業種・職種・男女を問わず、自分たちの地域をもっと良くしたいと思っている人が入会して「修練」奉仕「友情」の3信条のもと活動しています。他の青年団体との大きな違いは、会員の年齢制限があることが違います。また、まちづくりのためのボランティア活動、自己トレーニングのためのひとり活動を活発に行っている点も違います。ちなみに、政治的、宗教的には全く中立の団体です。



今年度は、西脇崇寛(弁護士法人 江別法律事務所)が第47代理事長を務め、「事上磨練(じじょうまれん)すべし」との言葉は、まちごとひとの中に「の」スローガンのもと、失敗をおそれず、行動しながら試行錯誤の中で活動し、活気あふれる協働のまち江別を創造してまいります。



始まり、江別に縁のある三ユーザン3組によるライブステージや、えべつ市民健康づくりプラン21に基づき江別市のオリジナルとして作成されたエクササイズ「Eurusum」など市内で活動する団体による発表が行われました。

また昨年は、企業や江別市内各種団体によるPRブースに注力し、毎年好評の「公益社団法人北海道道庁文化財センター」による、勾玉作り体験教室や、酪農学園大学中小家畜研究会の学生による、羊毛フェルト作り、新たに「野幌産業振興協会」による、レンジコースター給付体験や、北海道美容養生活衛生同業組合江別支部による「ヘアメイク編み込み体験」や、旭川ガスによる「万華鏡づくり」などを実施しました。さらに、市内の飲食店15店舗による飲食ブースや、市民会館内の小ワイエに市内



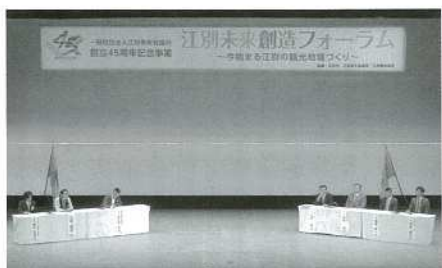
のスイーツ店11店舗が集結した「スイーツフェスタ」を開催し、来場者は約15,000人と多くの市内外の方に、まるごと江別を体験していただきました。また、この事業では多くの学生ボランティアスタッフにも協力していただき、江別の各種団体、企業・店舗の活動を集結することで、来場者の皆様が江別に関心を持ち新たなつながりを生み出すというわたしたちの事業の目的を達成することができました。

## 『江別未来創造フォーラム』今始まる江別の観光地域づくり

一社団法人江別青年会議所創立45周年の記念事業として昨年10月23日に江別市民会館で開催しました。株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役 鈴木宏一郎様に「観光地域づくりに取り組む意味」について基調講演をしていただき、国の地方創生に対する施策や他の市町村の事例を市民の皆様と一緒に知ることができました。

その後、江別市長の三好昇様をはじめ5名のパネリストを迎え「江別の環境地域づくりについて考える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。終了後の来場者のアンケートに目を通すと、環境地域づくりに多くの人々の協力が必要であり、現状を変えるために新しいことに挑戦することの重要性、そして本フォーラムを聞いて地域のために何か行動を起こしたいという方が多数いらっしゃることが確認できました。

また、本フォーラムをきっかけとして、2017年1月にわたしたち



たちは「えべつ観光特使」に就任いたしました。今後江別市内観光情報等を広く市内外に発信し、観光や交流人口の拡大及び観光振興に一層努めていきたいと思っております。

最後にありますが、昨年の創立45周年記念式典の中で、ONE EBETSU ACTION 2020「活気あふれる協働のまち江別の創造」という中期ビジョンを掲げ、江別のまちを一つにつなぐ架け橋となる決意を宣言させていただきました。本年はこのビジョンを実現すべく歩き出す大切な一年です。江別市をはじめ、市内外の関係諸団体の皆様や多くの市民の皆様と連携し「協働のまち江別」の実現へ向けて活動してまいります。今後ともよろしくお願いたします。



## 江別市生涯学習推進協議会 ホームページリニューアルのお知らせ

### 2017年4月から ホームページが新しくなります!

江別市生涯学習推進協議会のホームページはみなさんからご回答いただいたアンケートによって、より使いやすいホームページへと生まれかわります。

お忙しい中内容確認にご協力いただき、誠にありがとうございました。これまでのホームページは3月31日で公開を終了し、4月1日から新しい協議会ホームページとなります。(3月は移行期間のため、新・旧どちらもご覧いただけます)

リニューアルによって、各団体や指導をされている方の情報がより探しやすいとなります。

イベント情報や、生涯学習推進協議会加盟団体の活動紹介ページなどコンテンツを増やしていく予定ですので、今後みなさんの生涯学習にお役立ていただければ幸いです。

旧HP <http://www.e-lalala.org/>

↓  
新HP <http://shougai.ebetsu.org/> 生涯学習推進協議会/

## これからのイベント

### ◆江別更生保護女性会

#### ○東日本大震災復興支援

黙とうチャリティ合唱の集い

日時/2017年3月11日(土)

場所/野幌公民館 小ホール

バザー14:00～、黙とう14:46～、合唱14:50頃

### ◆江別美術協会

#### ○春季小作品展

日時/2017年3月14日(火)

～2017年3月19日(日)

場所/野幌公民館ギャラリー

小品の絵画を展示



## 今回の手話 「生涯」



右手の指文字「ヤ」形を左へ動かして左手掌に親指をあてる

### 《編集後記》

どんな年になるのか、したいのか? 心巡らせている間に厳しい寒さを過ごし、そろそろ春の香りがしてくるころでしょうか。

皆様は当会のホームページをご覧になられたことがありますか? 身近に情報があるのは便利なことですね。

これからどうぞご参加、ご協力よろしくお願い申し上げます。

西懸 昭子